

尚且組合長を聲明し直下之ヲ使用ナルニ於テ、製粉業者家
ル打撃第一層大ナルモ、延ヒテ將來之ヲシテ倒産ノ止ムナキニ至ルトノ議
起シテ之ヲ防止策ニ付種々疑議ヲ遂ケ製粉組合ニ交渉、結果
漸シク昨(年)十月製粉(造)期ニ先立チ

一、大正十三年度ハロール物混合ハ使用数量ノ一割ノハ事、
二、尚従来小麦挽賃一石七十五米ナリシヲ七十米トシ其内二十米ハ素
麵販路擴張費ニ充テ附スルニト

協定成リシク
製粉業者組合側

茲ニ於テ製粉業者側ハ前記協約ニ依ル擴張費空付金
二十米ヲ追加算ニ計上シ正式手續ヲ経ラレタキニ自製粉組合
ニ要求シタル(同)組合ニ於テ既ニ主腦者ハ大ニ居ル如キ狀况ニ
テ以テ容易ニ決定ヲ見スキトテ最早節季ニ切迫(一月三十日)總

勘定(トス)セルコトテ一般組合員ニ周知セシメタルハカラスト存リニ慮
シシ模倣ナルガ何等ノ回答ニ接セザルヲ以テ客月初旬製粉組合
ニ對シ小麦挽賃一石六十米ニセラレタト再ヒ交渉シタルモ之亦何等
ノ回答ニ接セザリシヲ以テ到底客員行覺束ナキト見テ遂ニ二月二十日
一般組合員ニ對シ挽賃五十米ナル旨發表シタリ

製粉業者組合

製粉業者ト締結シタル協約ニ代ルニ斯業不振ノ故ヲ以テ客
年末一般使用職ニ對シ賃銀二割方値下スル旨発表シタルカ
(従来一四五米ヲ八五米ニ引下ケ但シ食糧(付)今亦製粉組合ハ量
協約一石七十米ナルヲ五十米トシ組合員ニ発表シタルハ甚多不都

負慨シ之ヲ善後策ニ付種々協議シタル模倣ナル元既ニ
ル事トテ容易ニ協議纏ラズ加之製粉業者中
ハモ
の挽賃
ハモ
ノ事トテ容易ニ協議纏ラズ加之製粉業者中

五、以テ承認方ニ交渉